



京機会ニュース

No. 31 平成24年(2012年)秋号

京機会事務局 〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL & FAX: 075-753-5183 URL: <http://www.keikikai.jp/>
E-mail: jimukyoku@keikikai.jp



桂新キャンパス完成!

～12月から移転が始まります～

今年12月より、工学研究科物理系専攻関係研究室が、随時、桂キャンパスに移転いたします。

京機会の大きな母体である機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻が移転し、京機会事務局も合わせて移転予定です。来年2月には、京機会事務局も完全移転となります。詳しくは次号にてご紹介します。



新住所:

〒615-8530 京都市西京区京都大学桂
桂Cクラスター 総合研究棟IIIb棟3F 11号室



京機会秋季大会のご案内

～さようなら吉田キャンパス 記念大会～

本年度の秋季大会は、12月8日(土)に、吉田キャンパス京大百周年記念館・物理系校舎にて開催します。

桂キャンパス移転を前に、「**吉田: 思い出の光景**」と題し、皆様と明治・大正・昭和・平成4時代の吉田キャンパスの様子を振り返ります。

また、物理系校舎では、一昨年好評を博した機械系研究室展も開催します。



「思い出の光景」では懐かしの秘蔵写真をふんだんに盛り込んだ内容を公開予定です。楽しみにご来場下さい。講演会では、2012年機械遺産認定の<ウォシュレット>に纏わる秘話を中村 久志氏(S56、TOTO(株))にご講演いただきます。当日は、「学生と先輩との交流会」も京大百周年記念館にて同時開催いたします。**多数のご参加をお待ちしております。●詳細はP. 3をご覧ください。**



京機会名簿(CD版)発行

～12月下旬完成予定～

本年12月下旬に名簿(CD版)を発行いたします。

同名簿は、平成22～24年度京機会会費を完納いただいた方に贈呈いたします。京機会会費(年3,000円)のご納入をよろしくお願いいたします。



表紙画(下絵): 中尾美園作

名簿(冊子体版)は希望者に販売いたします。

価格は3,000円です。●詳細はP. 2をご覧ください。

名簿表紙原画は、秋季大会当日に会場にて展示します。



学生会員たより<2012>

平成23年度 学位授与式

平成24年3月23・24日に、機械理工学、マイクロエンジニアリング専攻(大学院)・機械システム学コース(学部)学生全員の出席を得て学位授与式を開催しました。23日には、京機会主催でエネルギー科学研究科、情報学研究科、エネルギー応用サブコースの学生と共に、記念パーティーを開催しました。会長、専攻長、コース長からの祝辞、賞の授与と卒業記念品贈呈がありました。



世界大会で活躍!

MEMS(微小電気機械システム)を用いた製品のアイデアを競う「国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト(iCAN)」が、7月6～10日に北京で開催され、田畑研究室M1の5名(中野君・鈴木君・田村君・松井君・高木君)が、「多機能運動補助装置 MEAS(Multi-Exercise Assist



System)をもって世界大会に臨みました。5千人を越える学生の中から予選を勝ち抜いた19チームの中で、見事<2nd Prize>を受賞しました。

会長代行ご挨拶

2012年7月より会長代行に就任いたしました。

前会長藤川卓爾氏の言葉『同窓会というものは何か、仲良し会でいいのかという議論があります。私は先ずそれではないと思います。それが始まりでいろいろとつながりの輪が広がって行けばよいと思います。』



私が京機会に関わるようになりましたのも同じ研究室の仲間とのつながりです。毎日の仕事のつながりと違って直接の利害関係を離れたつながりですが、京機会のおかげで人生がとても豊かになったと確信できます。卒業以来何十年も会っていなくてもすぐに話を通じる同期の横のつながり、職場や研究室の先輩・後輩の縦のつながり、京大機械系教室という同じ学び舎で学んだつながりが、長い人生で一番大切なつながりになると思います。京機会はこのようにつながりの広がりを目指して行きたいと思います。』が同窓会の在り方を語っており、京機会のベースであると思います。

現在の京機会には人数も増え、5支部がある全国組織となりました。さらに学生会や若手会の活躍によって、若い人もたくさん参加しています。また、おもに退職した人たちが、京都イノベーションリソースというNPO法人を設立し、機械工学をベースに社会に貢献しています。このように、京機会には学科の同窓会としては日本一と言えるでしょう。

ところで、京機会には、戦前から大阪で毎月9日に集まる九日会というのがありました。戦後は1952年に再開されましたが、その時の記録を見ると、梅田の阪急8階特別食堂で17～20時に開催され、会費は500円とのことでした。当時、若手で世話役をしていた森川龍一さん(S25)の話によると、『毎回20数人の教員や企業人が集まった。若手の月給が6000円の時に、毎月500円は大金であったが、大学の先生や関西財界で活躍されている京機会先輩と親しく話をし、情報と人のネットワークを形成したことが、仕事でとても役に立った。』とのことでした。

これからの京機会としては、関西支部の京機カフェや関東支部の同好会のように老若男女だれでも気楽に参加できる楽しい同窓会、学生と先輩が交流できる同窓会、さらには、情報と人脈の宝庫である役に立つ同窓会にしたいと思います。

松久 寛 (S45)

京機会前会長 藤川卓爾氏 (S45) は、Samsung Engineering Co. Ltd. (韓国) 勤務により、平成24年7月1日付でソウルに赴任され、6月30日をもって京機会会長を辞任されました。

幹事会での協議に基づき、7月1日から次回秋季総会(12月8日開催)までは、副会長の松久 寛氏に会長職務を代行していただきます。

京機会名簿発行のご案内

今年には会員名簿発行の年にあたり、本年12月下旬の発行に向けて現在順調に最新名簿の編集作業をすすめております。

この名簿(CD版)は、京機会会費平成22年度～24年度分完納の会員各位に無料で贈呈いたします。

冊子体版の名簿をご希望の方には、有償(3,000円)で頒布いたします。平成24年12月20日(木)までに京機会事務局までE-mailかTEL・FAXでお申込み下さい。

具体的な申込方法は事務局より別途ご案内します。

京機会名簿は、会員相互の連絡を図るための貴重な資料ですが、同時に大切な個人情報が含まれております。取り扱いを誤ると会員の皆様にご迷惑をおかけすることになります。このため、過去の名簿を処分されますときは、十分ご注意くださいようお願い申し上げます。**今回発行する名簿(CD版)は、個人情報保護のため、パスワードをかけます。**

贈呈対象各位に、このパスワードをお知らせするはがきを、12月中旬頃、お送りする予定です。

全体幹事会(旧評議員会)のお知らせ

学年幹事(旧評議員)各位には、今後の京機会活動についてのご審議・ご意見をいただきたく是非ともご出席の程よろしくお願い申し上げます。

日時：平成24年12月8日(土)

12:00～13:30

会場：京都大学物理系校舎216室

●全体幹事会のご案内は、別途、学年幹事(旧評議員)にご連絡します。

京機会のご目的は会員の親睦と発展で、その原点は各卒業年度の同窓会活動にあります。

この度の総会において、「学年評議員」の名称を「学年幹事」に変更する提案をさせていただきます。

名称一新に伴い、学年幹事各位には、ますますの協力を仰ぎたく、何卒よろしくようお願い申し上げます。

学年同窓会の積極的な開催をお願い申し上げます。

京機会本部も、学年同窓会開催に向けて積極的にお手伝いをいたします。ご要望がありましたら、遠慮なく京機会事務局までご連絡下さい。

jimukyoku@keikikai.jp (TEL&FAX 075-753-5183)

運営委員長 塩路昌宏(S50)、代表幹事 榎木哲夫(S54)

●**学年幹事(旧学年評議員)は、P.5にてご確認下さい。**

平成24年度京機会秋季大会・総会開催のご案内



本大会を下記により開催いたしますので、出席下さいますようご案内申し上げます。ご家族の参加も歓迎いたします。

日時：平成24年12月8日(土) 11:00～19:30

会場：京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール、国際交流ホール 工学部物理系校舎

行事：

1. <特別企画> 研究室ポスター展示 11:00～14:00 (会場：工学部物理系校舎)

桂キャンパス移転を前に、一昨年好評いただきました研究室ポスター展をアンコール開催します。

2. 京機会総会 14:00～

3. さよなら吉田キャンパス「思い出の光景」 15:10～



100年を超える期間に亘り、皆様の青春時代の舞台となった吉田キャンパス…
京都大学・京機会のお蔵写真や皆様から寄せられた秘蔵写真を、映像化しご覧いただきます。
上映後は、会場参加者全員での回顧座談会といたします。
当日、ご出席の皆様からの当時の秘蔵・爆笑エピソードなどのご発言をお待ちしております。

4. 特別講演 16:20～

「2012年 機械遺産認定 ウォシュレット 開発物語 ～ 日本トイレの進化～」

中村 久志 氏 (S56) TOTO (株)

1980年初代に誕生したウォシュレットG。昭和のトイレ事情やテレビCM「おしりだって洗ってほしい」の反響など当時の世相も交え、最新の環境配慮の面など、2012年日本機械学会 機械遺産に認定されるまでのウォシュレットの技術・歴史を映像を交え分かりやすくお話させていただきます。



5. 桂キャンパスへの誘い 17:35～

桂キャンパスならびに機械系教室の最新情報をご紹介します。

6. 懇親会 18:00～

会場：京都大学百周年時計台記念館、国際交流ホール

会費：一般会員 4,000円 会員ご家族は無料

学生会員 1,000円 (11/28までの事前入金の場合、500円の特別優待が決定！)

- **ご家族の参加も歓迎いたします。** ご家族参加の場合は、大会参加申込時に、その旨ご回答下さい。
- **自由な服装でお越しください。**
- **11月28日(水)までに、同封のハガキもしくは、京機会HP (<http://www.keikikai.jp/>)からの参加申込をお願いします。** (但し、二重受付登録防止のため出欠回答はどちらか一方でお願いします。)

京機会・京機学生会SMILE 学生と先輩との交流会のお知らせ

学生会員諸君！

学生会員の多数の参加をお待ちしています。
講演会以外の詳細情報は、京機会からのE-mailや
物理系校舎ロビーポスターにて確認下さい。

日時：平成24年12月8日(土)

交流会：10:30～15:00

懇親会までは、上記講演会でお楽しみ下さい！

懇親会：18:00～19:30

京機会秋季大会懇親会と合同開催です
11/28までの申込みなら懇親会費は500円！

会場：京都大学百周年時計台記念館
国際交流ホール・記念館ホール



～ 学生と先輩との交流会とは ～

本交流会は、学生が社会における「現実」を知る教育活動の一環として、1999年より実施しております。本会は、京機会会員である先輩から、在学生に対し、大学における勉強と実社会との仕事の関係、仕事のやりがい・心構えなどを話していただいております。例年、学生の関心も大変高く、勉学の動機づけや将来の方向付けにも少なからず寄与しております。毎年、約100社の企業に参加いただき、各社からも好評をいただいております。



平成24年度 京機会春季大会・総会のご報告（一日目:4月14日）



今回は、九州支部主催で、延べ約95名の会員とご家族の方に参加いただき、盛況な大会となりました。

日時：平成24年4月14日（土）～15日（日）

総会：三菱重工業㈱ 長崎造船所本館 8F大会議室
懇親会：同9F レストラン

－ 見学会 －

三菱重工業㈱長崎造船所の歴史などをビデオでご紹介いただいた後、参加者は4グループに分かれ、史料館やタービン工場を見学した。



－ 総会 －

千々木亨九州副支部長（S54）の総合司会のもと、総会司会の北條正樹代表幹事（S54）の開催挨拶により開会し、藤川卓爾会長（S42）より各学年万遍無い多くの参加者へのお礼を交えた挨拶を頂いた。



北條代表幹事より、秋季大会と若手と先輩との交流会の開催、ニュースレター・京機短信の発行、修士修了記念パーティーの開催等のH23年度活動報告

があり、その中で各地への工場見学等の若手会員への支援・連携・協力強化や、地域支援、研究室同窓会への支援について紹介があった。

続いて、西脇眞二幹事（S61）よりH23年度決算報告がなされた。収支は28万円程度の黒字であるが、久保基金、第二世紀事業会からの支援により黒字が保たれたことの説明があった。中谷征司監事（S37）より監査報告があり承認された。その後、H24年度予算報告があり承認された。若手と先輩との交流会では100社程度を目指して参加企業を増やす、本年度は名簿発行年であり会費の納入増が期待できる、工場見学等、学生の教育に関する支援を強化したい等の方針が示された。

その後、並木宏徳関西支部長（S44）、熊澤正博関東副支部長（S43）、中川哲中部支部顧問（S38）、岩崎嘉徳中国四国支部事務局次長（H1）、千々木九州副支部長より、各支部の活動報告があった。

次に北條代表幹事より役員改選案が示され、承認された。その後、榎木哲夫新代表幹事（S56）より、各支部の立派な活動を称えつつ、同期と会えてよかったという同窓会にしたいとの挨拶があった。秋季大会・総会は12月8日（土）で若手と先輩との交流会と同日開催の予定である。

－ 講演会 －

講演会では、相馬和夫九州支部長（S50）より、「長崎造船所の歴史」について講演があった。時代背景を交えつつ、江戸末期からの150年を超える造船業の変遷とタービン・原動機システムの展開について紹介があった。さらに、技術編として、各種プラントの熱・発電効率向上への挑戦と風力発電の大型化等が紹介された。

引き続いて、ブライアン・バークガフニ 長崎総合科学大学 環境・建築学部教授より、「東西透かし彫り－長崎の「和華蘭」文化について－」の講演があった。禅への興味から40年前に来日し、西洋と東洋が不思議に調和した長崎に惹かれた経緯が紹介され、ふんだんにユーモアを交えながら、長崎の歴史・文化に見られる国際交流の足跡について興味深く説明いただいた。会場は度々笑いに包まれながらも、お互いのメリットを大切にするさりげない国際交流のあり方の重要性を再認識することになった。



－ 懇親会 －

角知則九州支部事務局次長（S55）の司会のもと、相馬九州支部長の開会挨拶により開会した。出席者最年長の下間頼一さん（S25）より乾杯の発声をいただいた。歓談の声に包まれた大盛会となり、懇親のひとときを楽しんだ。北條幹事、蓮尾昌裕幹事（S61）より大学の近況について報告があり、熊澤関東副支部長より関東で開催予定の平成25年度春季大会総会について予告があった。



最後に全員が肩を組んで琵琶湖周航の歌を合唱し、名残を惜しみながら閉会した。



● 平成25年度春季大会は、4月13日（土）に関東支部主催で、東京丸の内（日本工業倶楽部）にて開催します。

平成24年度 京機会春季大会・総会のご報告（二日目：4月15日）

1) 軍艦島・修船場ツアー

ご家族を含め38名の方に参加いただきました。長崎港から南進すること50分、紺碧の東シナ海の水平線の向こうに軍艦島が現れました。軍艦島は明治以来三菱社により開発された炭鉱島で戦前、戦後をとおし、延べ1570万トンの良質の石炭を供給しました。最盛期には0.06km²の狭い島に5000人以上の人が住み隆盛を極めました。昭和49年の閉山後無人島となりました。軍艦島で実際に居住した経験のあるガイドの方がユーモアあふれる名調子で当時の生活ぶりを紹介下さいました。

長崎に戻って四海楼で元祖長崎チャンポンを楽しんだ後、三菱重工長崎造船所史料館の横川館長のご案内で、日本初の近代修船場である小菅修船場を見学しました。最後にグラバー園を見学し、長崎の和華蘭文化を堪能しました。



2) 軍艦島+沈黙 ツアー

参加者は総勢10名、ブラックダイヤモンド(石炭丸)に乗り、まず軍艦島のすぐ北にある高島に向かいました。

高島では石炭資料館を見学し、1/100模型で軍艦島

の説明を受けました。学校、病院、社宅、映画館、塹坑など、全盛期の姿で模型が作ってあり島全体の様子が良くわかりました。当時石炭掘りに使用された機材も展示されており、40℃以上の過酷な環境で働いた鉱夫の苦労が偲ばれました。その後船で移動し、軍艦島に上陸して日本最古の7階建て鉄筋コンクリートアパート等を見学しました。

午後は、五島灘の美しい景色を見ながらドライブして遠藤周作文学館を訪ね、キリシタン弾圧を題材とした「沈黙」ゆかりの品々を見学しました。その後、外海歴史民族資料館とド・ロ神父記念館を見学しました。



3) ゴルフコンペ

快晴の朝を迎えた総会翌日、ゴルフコンペを行いました。会場は日韓対抗戦の舞台ともなった「パサージュ琴海アイランドゴルフクラブ」。大村湾に突き出た半島にあるゴルフ場で、海・池が美しいコース第1位の評価を受けた長崎屈指の名門コースです。満開の花が咲き誇る美しいホールもあれば、断崖絶壁の海越えホールもある多彩なコースで、参加した7名のチャレンジ精神が大いにかきたてられました。プレー後は隣接するリゾートホテルで表彰式と懇親会を行い、再会(再戦)を誓い合いました。



平成24年度京機会学年評議員(敬称略)

- 平成24年度秋季大会・総会に於いて、「学年評議員」から「学年幹事」へ名称変更提案いたします -

卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名	卒業学年	氏名
1947	中井 肇	1957	坂戸 瑞根	1968	来田 浩毅	1979	坂口 保彦	1990	琵琶 志朗	2001	土井謙太郎
1948	岐美 格	1958	野田 忠吉	1969	小谷 重遠	1980	奥田 寛	1991	高橋 俊雄	2002	金田 靖弘
1949		1959	柴田 俊忍	1970	各務 嘉郎	1981	榎木 哲夫	1992	須山 徹	2003	吉富 聡
1950	野木 圭三	1960	矢部 寛	1971	三津田恒夫	1982	矢辺 保行	1993	岩井 裕	2004	安富 亮太
1951	吉川 和彌	1961	井上 恵太	1972	秋山 雅義	1983	永瀬 豊	1994	茨木 創一	2005	向 朋作朗
1952	山本 巖	1962	吉岡 肇	1973	増本 雄治	1984	横小路泰義	1995	小森 雅晴	2006	濱田 圭
1953旧	乾 幸人	1963	中川 哲	1974	苅田 広	1985	田坂 誠均	1996	泉井 一浩	2007	長谷川寛晃
1953	西田 弘	1964	垣野 義昭	1975	塩路 昌宏	1986	蓮尾 昌裕	1997	佐野 智一	2008	所 哲哉
1954	岡崎 順応	1965	川辺 泰嗣	1976	杉江 俊治	1987	川上 浩司	1998	浦木 亨弘	2009	松本 洋平
1955	田中 道七	1966	中嶋 邦彦	1977	星出 敏彦	1988	玉川 雅章	1999	藤本 亮	2010	工藤 朋也
1956	橋本 昌	1967	藤川 卓爾	1978	上原 一浩	1989	石谷 善博	2000	小田 豊		

平成24年度京機会役員（敬称略）

◎*は新任、正：は正幹事、副：は副幹事の略

【会長代行】松久 寛*(S45)

<2012年6月30日付での藤川卓爾前会長の辞任に伴い、
7月1日より12月8日（H24総会開催日）までの期間>

【副会長】松久 寛（S45）、牧野俊郎*(S47)

並木宏徳（S44、関西S）、中村吉伸（S48、関東S）
鎌居謙一郎*(S53、中部S）、
石崎幸人（S43、中四国S）、相馬和夫（S50、九州S）
大山勇己*(H24、学生会) ◎ Sは支部長の略

【監事】中谷征司（S37）、川辺泰嗣（S40）

森 雅彦（S60）

【代表幹事】正：榎木哲夫*(S56)

副：中部主敬*(S56)

【事務局長】矢部 寛（S35）

【会計幹事】正：西脇眞二*(S61)

副：田中和人*(H6)

【常任幹事】

会長指名：熊澤正博（S43）、塩路昌宏*(S50)

吉田英生（S53）、北條正樹*(S54)

地区代表幹事：

（関西）小林 聡*(S58）、（関東）能勢幸嗣*(H3)

（中部）河野恵介*(S58）、（中四国）岩崎嘉徳*(H元)

（九州）角 知則*(S55)

大学側幹事：

（関西）正：杉江俊治*(S51）、副：松原 厚*(S60)

（関東）正：吉田英生（S53）、副：北條正樹（S54）

（中部）正：松野文俊*(S56）、副：田畑 修*(S54)

（中四国）正：琵琶志朗（H2）、副：安達泰治（H2）

（九州）正：井手亜里（S52）、副：蓮尾昌裕*(S61)

（名簿担当）中西弘明（H4）

（広報：ニュース）正：蓮尾昌裕（S61）

副：富田直秀（S54）

（広報：HP）泉井一浩（H8）

（学生会）岩井 裕（H5）、塩瀬隆之（H8）

河野大輔（H17）

（教室代表：機械系）花崎秀史*(S59)

（教室代表：エネルギー）塩路昌宏*(S50)

（教室代表：情報）杉江俊治（S51）

学生会：一色健司*(H24)

【通信・情報担当】山田啓介（H14）

【顧問】久保愛三*(S41)

【運営委員会】運営委員長：塩路昌宏*(S50)

久保愛三、瀧本正民*(S43)、石崎幸人*、
熊澤正博、並木宏徳*、松久 寛、吉田英生、
北條正樹、榎木哲夫、西脇眞二*、
山口美賀*(H15)

会費納入のお願い

平成24年度会費 3,000 円の納入をお願いします。

本会の運営は皆様の会費によって支えられております。年会費は主に事務局の維持、ニュースの発行など全会員に関連する目的に使われており、各行事は主にそのつど追加で徴収する参加費で運営されております。これらの点をご理解の上、年会費をお納めいただきたくお願い申し上げます。

なお、各行事参加は当該年度の会費納入を前提とさせていただきます。

会費ならびに寄付ともに同封の振り込み用紙をご利用下さい。振込用紙は返信はがきと一体となって印刷されております。会費納入の際は、会費最新状況お知らせ欄に記載されている納入状況を今一度ご確認ください。

●永年会員登録のお勧め

1975年以前ご卒業(60歳以上)の会員は、永年会費6万円を納入することにより、その後の年会費納入の必要はなく、生涯会員サービスを受けられます。積極的にご登録下さい。(但し、登録に際し既払込会費の返金は致しません。)

●インターネットバンキングもご利用できます。

右記の口座に、振込手数料を除いた金額をお振込下さい。(今後、年会費振込手数料は全て京機会負担といたします(海外送金は除く))

#口座名は全て「京都大学機械系工学会」です。

せろきゆうきゆう
ゆうちょ銀行 ○九九店(099) 当座預金 0116821
みずほ銀行 出町支店(587) 普通預金 1048630
郵便振替口座 00990-8-116821

●京機会年会費自動引落としのお勧め

各位の振込みの手間を省くため、また、事務局の作業を大幅に減らし経費を削減するため、京機会年会費を自動引落としにしてください。申請用紙は、毎年、京機会ニュース春号に同封しております。また、京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページからダウンロードできます。振込手数料は京機会負担ですので、是非ご利用下さい。

なお、ご利用時は下記注意事項をご確認下さい。

①申請依頼書は下記京機会事務局宛にご郵送下さい。

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学工学研究科 機械系教室内 京機会事務局

②今年度分の会費は来年6月に来年度分とまとめて引き落とされます。再来年以降は6月にその年度の会費が引き落とされます。

●クレジットカードによる会費納入も可能です。

京機会ホームページの「会費納入のお願い」のページから会費納入用紙をダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、指定連絡先へFAXでお送り下さい。

ご寄付のお願い

本会では寄付をお願いしております。前号以来、右に記載いたしました方々からご寄付をいただいております。ご報告申し上げると共に、厚く御礼申し上げます。引き続き、皆様方には、寄付へのご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

また、今春には、エステーシー(株)様より、レーザーポインターをご寄贈いただきました。桂キャンパス移転に伴い、皆様からのご寄贈品も歓迎いたします。

平成23.24年度ご寄付者 (H23.2.11~24.9.25)

大路 清嗣 様(1953) 仁科 稜三 様 (1958)
垣野 義昭 様(1964) 久保 愛三 様 (1966)
田丸 正毅 様(1975)

レーザーポインター ご寄贈

エステーシー(株) 代表 奥田 啓二様(1981)

京機会 平成23年度決算ならびに平成24年度予算

	科目	概要	H23年度予算	H23年度決算	(差異)	備考	H24年度予算	
増加原因の部(収入)	会費収入		8,000,000	7,940,000	-60,000		7,750,000	
		(内訳) 一般会費	6,840,000	7,025,000	185,000			
		永年会費	600,000	420,000	-180,000			
		学生会費	560,000	495,000	-65,000			
	寄付収入		10,000	24,000	14,000		30,000	
	名簿広告収入		0	0	0		400,000	
	交流会収入	一社 @50000	4,800,000	4,396,000	-404,000		5,000,000	
	行事参加収入		480,000	406,000	-74,000		410,000	
	利息		10,000	1,143	-8,857		10,000	
	その他		0	3,000	3,000		0	
	合計		13,300,000	12,770,143	-529,857		13,600,000	
減少原因の部(支出)	通信費	ニュース・大会案内・名簿など	870,000	892,520	-22,520		1,260,000	
	印刷費	ニュース・大会案内・名簿など	1,460,000	1,381,637	78,363		2,380,000	
	人件費	職員人件費・臨時アルバイト代	4,640,000	4,466,668	173,332		4,820,000	
	支部活動費		1,649,000	1,648,215	785		1,699,000	
		(内訳) 関西	582,000	582,178				
		関東	392,000	391,881				
		中部	270,000	270,193				
		中国四国	227,000	226,869				
		九州	178,000	177,094				
		その他	1,649,000	0				
	大会経費	春季大会・秋季大会	660,000	529,668	130,332		530,000	
	交流会費		1,000,000	1,041,882	-41,882		1,100,000	
	スマイル活動費		210,000	173,434	36,566		200,000	
	機械系教育補助費	工場見学・修士修了パーティーなど	986,000	453,515	532,485		1,000,000	
	名簿引当金繰入費		450,000	450,000	0		-805,000	
	旅費	幹事会・運営委員会・支部総会など	430,000	337,100	92,900		330,000	
	会議費	幹事会・運営委員会・評議員会など	175,000	284,296	-109,296		270,000	
	会費振込手数料	銀行・郵便局手数料	220,000	220,012	-12		220,000	
	業務諸費	備品消耗品・通信費・事務局管理費など	350,000	609,116	-259,116		396,000	
	予備費		200,000	0	200,000		200,000	
	その他		0	1,000	-1,000		0	
		合計		13,300,000	12,489,083	810,917		13,600,000
		当期正味財産増減額			281,080			
	前期繰越正味財産額			9,776,075				
	期末正味財産合計額			10,057,155				

教員の異動

新任

藤本健治教授：H6京大・工・精密工卒、H8同大学院応用システム科学専攻修士課程修了、H9同博士後期課程中途退学、H13本学博士(情報学)、H9.4.1本学応用システム科学専攻助手、H16.4.1名大・工・機械理工学専攻助教授、H24.10.1本学航空宇宙工学専攻教授。非線形・確率システムのための制御理論の研究に従事。大阪府出身。



◆新宅博文助教：H14京大・工・物理工卒、H16同大学院工学研究科・修士課程修了、H18.9同博士後期課程修了、H18.10大阪大学大学院基礎工学研究科助教、H24.4.1本学マイクロエンジニアリング専攻助教。細胞や生体高分子等を含む複雑流体のマイクロ・ナノスケールにおける流動および輸送現象に関する研究に従事。広島県出身。



◆山田崇恭助教：H19京大・工・物理工卒、H20同大学院工学研究科・修士課程修了、H22同博士後期課程修了、H22名古屋大学院工学研究科機械理工学専攻助教を経て、H24年本学機械理工学専攻助教。基礎理論を中心とした機械製品の設計製造システムに関する研究に従事。岐阜県出身。



◆藤井恵介 助教：H19京大・工・物理工卒、H21同大学院工学研究科・修士課程修了、H24同博士後期課程修了、H24.4.1本学機械理工学専攻助教。核融合プラズマ中の粒子輸送に関する研究に従事。大阪府出身。



本年3月に退職された松久教授、落合教授の退職記念式典の報告はP.13で紹介しております。

先輩から学生の皆様へのメッセージ(9)

近藤弘嗣氏の略歴：藤本研出身。H16学部卒、同年国土交通省入省。道路事業や機械設備の整備等、様々な部署を歴任し、現在、同省近畿地方整備局道路部交通対策課長。



はじめまして。当時の応用分光学研究室(現在の光工学研究室・蓮尾研)卒の近藤と申します。国土交通省に勤め始めて早くも9年目になりますが、その間、国が管理する道路や河川の建設や維持管理の分野で、様々な部署を経験しました。現在は近畿地方2府5県の国道の交通安全事業(歩道拡幅等)の計画・予算配分・事業実施を統括する仕事をしています。

京機会の会報をご覧の皆様は、機械工学の専門家としてメーカーの技術者として活躍される方が多いと思われませんが、折角の機会ですので国家公務員という職種で技術系職員がどのような仕事をしているか、私の経歴を交えてご紹介したいと思います。

国土交通省は、官庁の中でも技術系職員の採用が多い役所です。自動車や航空機の技術基準の策定や審査を行っている部門では、ある程度機械工学の知識が必要とされますし、道路整備や河川改修の計画やそれらの構造基準の策定を行っている部門では、ある程度土木工学の知識が必要となります。

大学時代の専攻にある程度沿った畑を歩んでいくことにはなりますが、私の場合は、機械出身にもかかわらず土木出身者が多数を占める道路・河川等社会資本整備の部門を歩んでおります。ダムや河川堤防等土木構造物にはゲートなど機械設備が不可欠ですので、機械工学を専攻した学生も必要ということです。

社会資本整備の部門でどのような業務に携わったかについて紹介する前に、この部門は非常に転勤が多いということを申し上げなければなりません。そもそも公務員では部署替えが概ね2年に1回あることが一般的です。霞が関の中での部署替えで済む省庁もたくさんありますが、国土交通省の社会資本整備の部門は直接現場を抱えていることから、県庁所在地でもない地方都市への転勤もあります。おそらく人生の半分は霞が関以外の地方での生活となるでしょう。

さて私の場合ですが、まず採用1年目で広島に赴任しました。土木構造物は、実際の現場施工と設計図を作る業務は別々に行われるのですが、その設計基準を担当する部署に配属となりました。土木工学用語を一つも知らない中、基準の意図を下部機関に説明しなければならぬ立場だったので、非常に苦労したのを覚えています。

採用2年目で、早速鳥取市内に転勤。ここでは道路事業の計画や予算執行を管理する部署に配属となりました。当時鳥取市は日本で唯一高速道路のICがない県庁所在地で、高速道路建設や計画がどんどん進んでいましたので、地元の方々に接する機会も多く、熱烈なる期待を感じながら楽しく仕事をする事が出来ました。

ここまで機械工学とは無縁の仕事でしたが、霞が関に転勤してからは、油圧ショベルなど建設機械の環境規

制に関する業務に携わり、途端にエンジンの知識等が必要となりました。3年目であっても、法律を扱う際のカウンターパートは、メーカーの部長クラスですので、専門的な知識がなければ相手にしてくれません。

霞が関での仕事は、部署にもよりますが、社会的な影響が比較的大きいものであっても、採用3年目～6年目の係長クラスが実務からマネジメントまで任されております。しかし、係長クラスといっても実質的には下っ端ですので、業務量は膨大となります。霞が関は不夜城と言われますが、私の場合も霞が関勤務であった採用6年目までは、終電で帰れないのはしばしば、1週間役所に泊まり込みということもありました。

採用7年目で南紀白浜の近くに転勤したときには、早くも管理職。責任の幅は係長のころとは段違いに広がりました。幸い実務をこなしてくれる部下には恵まれましたが、管理職の仕事はマネジメントであるため、膨大な業務の進捗を完全に掌握すること、そのためにホウ・レン・ソウをいかに徹底させるかが重要になってきます。やれと命令したところでうまくいきません。私自身の情報や知識のレベルが部下と同等以上になってはじめて、部下が上司に報告や相談をするメリットもありますし、説明の手間・コストも減りますので、ホウ・レン・ソウがなされるようになっていくという経験をしました。

というわけで、9年間で引越は6回、異動の辞令は7枚(部署の名称が変わるくらいの小物は除く)を数えるわけですが、そんな役人生活の中で国家公務員としてだけではなく、社会人として必要だと感じ、学生時代にある程度鍛えておけばいいなと思ったスキルについて紹介します。

一つは、短期間で必要な知識を習得する能力です。法律やルールといった仕事に必要な知識は、大学の専攻とはほぼ無関係ですのでスタートラインはみんな同じ。一生懸命勉強しようとする姿勢と実際に知識として身に着けることが大事です。これらは京大に入学してきた皆さんには得意なはずですが、大学生活を続けるとだんだん苦手になりますよね。

次に、伝える能力。皆さんいろんな案件に責任を負っていて忙しいので、じっくり聞いてはくれません。伝えても無駄なことは伝えない。そのかわり聞かれたらきちんと説明できるように準備はしておく、といったテクニックは、プレゼンにも通じることがあると思いますので、学生時代でも鍛える機会はあるかと思えます。

また、昇進すればするほど、人脈が必要になってきます。人脈というのは夜な夜な飲み会を重ねていけば、築けるといったものではありません。必要なのは共通の話題。様々な人脈を築くためには、様々な話題の引き出しを準備しておくことが必要です。共通の教養を身に着けるのに学生時代の全学共通科目の履修ほど絶好の機会はないと思うので、最低限の単位数を揃えるだけでなく、面白そうな講義にはどんどん手を出してみたらどうでしょうか。

最後、少し説教臭くなりましたが、この会報をご覧の皆様は様々な分野でのご活躍をお祈りしております。



写真同好会第5回撮影会の報告

恒例になってきた写真同好会撮影会。今年5月12日に開催しました。今回はいつもの庭園巡りとは異なり、少し趣向を凝らし「隅田川屋形船クルーズ」で、楽しく東京を撮影しました。9名の方に参加いただき一緒にわいわいと一日楽しく過ごしました。第6回「都内庭園巡り」は11月17日開催。来年1月の新年会写真展示もお楽しみに。

若手交流会の報告

昨年度は開催されずに終わった若手交流会。松原さん(H17)、長尾さん(H17)の尽力のもと、8月18日に21名の参加をいただき開催いたしました。しかも、若手だけではなく、松久先生(S45)や村山さん(S28)にもご参加いただき、盛大に開催されました。若手は卒業から間もないため、業務多忙で中々集合できませんが、継続的に開催していきたいと考えております。

学生工場見学会の報告

恒例の学生工場見学会が9月25～27日に実施されました。「折角、関東まで出てくるのに1泊2日はもったいない!」「関東には中部や関西より多くの会社があるのに～」というご意見をもとに、初めて2泊3日、計6社の工場見学を企画しました。

26日には関東在住OBも懇親会に乱入し、学生・OBあわせて計40人が集合し大いに盛り上がりました。詳細は春号で報告いたします。



MOT(技術経営)セミナーの報告

日時:平成24年10月6日(土) 15:30～19:00
場所:京都大学東京オフィス(品川)
講師:Woodside Capitals Partners 墨田 修作氏
講演:「Silicon Valley Innovation」

平成25年度 関東支部総会及び新年会のご案内

平成25年度支部総会・新年会は、以下の日程で開催します。関東支部会員は同封の案内をご確認ください。詳細は、京機会HPにも掲載しております。

日時:平成25年1月26日(土) 13:00～
場所:日立金属高輪和彊館(品川駅から徒歩10分)

平成25年度 春季大会・総会のご案内

来年度京機会春季総会(平成25年4月13日(土))は関東支部が担当であり、現在、鋭意計画中です。皆さま、予定表にマークをお願いいたします。

日時:平成25年4月13日(土) 午後
場所:日本工業倶楽部(東京駅の目の前です)

中部支部からのお知らせと報告

今年度より鎌居健一郎支部長(S53)のもと新体制がスタート。「日本のモノづくりを元気に」をスローガンに中部地区の活動を紹介して参りますので、ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

中部支部総会の報告

日時:2012年4月7日(土)
場所:豊田自動織機(株) シャインズ 参加人数:103名
講演:「LEXUS LFA開発の軌跡」

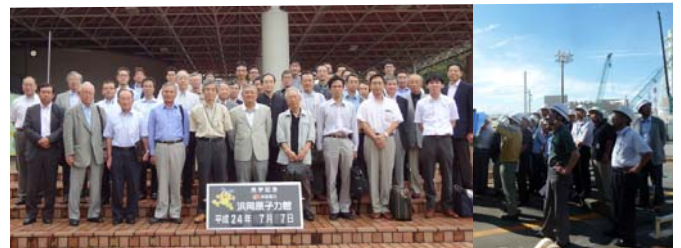
トヨタ自動車(株)レクサス本部 棚橋晴彦氏(S51)
「国際救助隊サンダーバード構想」
京都大学 松野文俊教授

棚橋さんにはスーパーカーLFAの実車を会場に持ち込んで頂き、そのエグゼーストノートに参加者全員胸を躍らせました。松野さんには大震災の経験を今後の災害救助にいかにかかすかをお話し頂きました。



技術交流会の報告

日時:2012年7月7日(土)
場所:中部電力(株)浜岡原子力発電所 参加人数:48名
見学:「原子力発電の安全の取組みについて」
津波対策の防波堤建設現場を見学し、原子力発電の安全への課題と将来エネルギー構想について生の議論を交わすことができました。压力容器の中も覗きました。



学生工場見学会併設技術交流会の報告

恒例の学生工場見学会ならびにOBと学生の技術交流会が8月30、31日の両日実施されました。詳細は次号で報告いたします。

平成25年 中部支部総会のご案内
来春4月に開催予定です。詳細は次号(2013春号)でご紹介いたします。



■ 京機カフェ設立

同窓生が集まる機会をもっとつくり、従来の京機サロンの発展形として京機カフェを設立しました。

どなたでも幹事役になり、様々な研究会や趣味の会などを気軽に機動的に開催できるよう、「カフェ」と名付けました。

従前から京機サロンとして活動してきた「MOT研究会」「文楽鑑賞会」「若手交流会」に加え、「経営者の会」「ゴルフ会」「産業遺産探訪」「大阪あそ歩」が始まっています。思い立ったイベントをとりあえず試しに1回企画し、京機ホームページを通じて参加者を募集する、ということも可能です。こんな会合・催しを、というアイデアがあれば事務局までご相談下さい。

● **MOT研究会** (幹事:坂口保彦氏、S54)
第44回:平成24年5月15日(火) 場所:大阪弥生会館
講演:「社内ベンチャーサクセスストーリー」
麻生川静男氏(S52)
参加者:22名

● **文楽鑑賞会** (幹事:並木宏徳氏、S44)
第9回:平成24年7月28日(土) 場所:国立文楽劇場
夏の恒例行事となりました。今回の演目は「摂州合邦辻(せつしゅうがっぼがっじ)」「伊勢音頭恋寝刃(いせおんどこいのねたば)」「契情倭莊子(けいせいやまとそうし)」で、文楽鑑賞参加者26人、懇親会参加者16人(含ご家族ご友人)でした。



● **若手交流会**
第11回:平成24年3月17日(土) (幹事:矢野宜男氏、H16)
南禅寺坐禅と手作り和菓子体験
参加者:14名(会員7名、会員家族4名、友人3名)



第12回:平成24年6月30日(土) (幹事:東俊博氏、H18)
比叡山ハイキングツアー
参加者:10名(会員8名、会員家族1名、友人1名)
第13回:平成24年10月6日(土) (幹事:東俊博氏、H18)
食品サンプル製作体験((株)森野)
参加者:13名(会員7名、会員家族4名、友人2名)

● **経営者の会(新)** (幹事:四柳繁氏、S48)
第1回:平成24年7月26日(木)
これまでの京機運営は卒業生の多い大企業や大学人の視点に偏りがちだったとの反省から、中小企業や個人事業の経営に携わっている京機会員の集まりとして開催しました。人的ネットワーク強化から、イノベーションや新産業創出にまでつながることを期待しています。
参加者:24名

● **産業遺産探訪(新)** (幹事:小浜弘幸氏、S32)
第1回:平成24年9月15日(土)14:00~19:30
技術を通してより広い展望、より深い理解、より確かな自信に至るための一つの門として、技術と産業の歴史の勉強という入口を設営しました。取り敢えずは、博物館に収まった展示品を通して、その当時の技術と社会の流れを見ることから始めています。
場所:交通科学博物館 参加者:17名
見学:星型航空発動機 中島「誉」、ライト・サイクロン18、国鉄蒸気機関車 D51、O62

● **ゴルフ会(新)** (幹事:橋永雅夫氏、S50)
第1回:平成24年9月20日(木)
京機メンバーが場を変えて懇親を深め、今後の個人の事業活動・会社活動に良い刺激を与えるために企画しました。参加者:12名

● **大阪あそ歩(新)** (幹事:坂口保彦氏、S54)
第1回:平成24年10月13日(土)
関西の文化的な名所だけでなく、色々な大阪の街を巡ります。第1回は大阪市大正区の平尾・恩加島地区。

■ 京機MOTセンター (KMC)

平成24年4月23日、第1回「イノベーション研究会」を開催しました。今日の経済の閉塞状況とイノベーションの目的などについて議論しました。議論の詳細は京機短信No.188(2012.08.05)をご参照下さい。第2回は6月20日に開催し、ケーススタディーとして長野寛之さん(S53)にお願いし、「Panasonic など日本企業は、なぜ韓国企業に敗れたか?」をテーマにお話いただきました。

なお、第3回は10月20日(14時~)京都大学機械系教室での講演会です。講演は大阪大学産学連携本部の兼松教授をゲストスピーカーとしてお招きし、ドイツの地方経済振興に関わるイノベーションの事例(政策とその実績)についてお話いただきます。

KMCイノベーション研究会ではこうした議論に参加される方を歓迎します。

URL:<http://keikikaimot.com/index.html>



支部だより

関西支部からのお知らせと報告

■ 異業種交流会

第32回:平成24年3月2日(金)14:30~19:00
 場所:コマツ大阪工場
 見学:ブルドーザ組立工場、油圧ショベル組立工場
 講演:「D85MS地雷処理機について」押川祐士氏(S59)
 参加者:学生会SMILEとの共催。計36名(内学生16名)

第33回 異業種交流会ご案内

日時:平成24年11月16日(金)

場所:(株)ユーシン精機

- 見学・講演等、詳細は、ホームページ、メールにてご案内します。

■ 産学懇話会

第36回:平成24年5月9日(水)16:30~18:30
 場所:京都大学工学部物理系校舎 2F 212室
 講演:「鉄道技術とサービスの発達」
 西城浩志氏(近畿大学教授、S44理)

参加者:23名

第37回:平成24年10月6日(土)14:30~17:00
 場所:京都大学工学部物理系校舎 2F 216室
 講演1:日本の電機業界の現況と課題
 - 今後の復活の道は? -

長野寛之氏(大阪大学特任教授、S53)

講演2:プラズマを用いた超微細プロセスの昨今
 の話題
 江利口浩二氏(京都大学准教授、H1)

■ 京機九日会

偶数月9日(除12月)に中央電気倶楽部(大阪・堂島)で、11時~14時に開催しています。平成24年はS41卒組が幹事を担当しています。

2月9日牧野俊郎氏(S47)、4月9日平忠明氏(S39)、
 6月9日井街宏氏(S41)、8月9日藤村直彦氏(S41)
 10月9日は「ヨットによる太平洋冒険航海紀行」山崎勲氏
 (S41航空)に講演いただきました。

■ 京機・京都の会

京都近郊の京機会会員交流会を3、7、9、12月の第一土曜日、ウエスティン都ホテル(蹴上)で11時から開催しています。仕事、趣味、思い出など話題提供の後、会食・懇談の楽しい一時を過ごしています。例会参加費は5千円です。詳しくは事務局へお問い合わせ下さい。

■ ここのえ会

結婚活動支援組織「ここのえ会」が紹介活動をスタートさせています。皆さんの積極的な入会をお待ちしています。詳しくは京機会ホームページの関西支部「ここのえ会」のサイトをご覧ください。

■ 2回生工場見学への協力

機械系教室では、2回生の工場見学会を大学の創立記念日に合わせて開催しています。

関西支部は本企画に協力し、今回(平成24年6月18日)はヤンマー(株)尼崎工場と住友金属工業(株)製鋼所を見学していただきました。学生たちが将来なるであろう機械工学技術者の役割や責任を、直に感じる事ができたものと考えています。

平成25年 関西支部総会・新年会のご案内

平成25年1月19日(土)に、ホテルグランヴィア大阪で開催します。関西支部会員は同封の案内をご確認下さい。詳細は、京機会HPにも掲載しています。

中国・四国支部からのお知らせと報告

異業種交流会および支部役員連絡会のご案内

本年12月に、異業種交流会および支部役員連絡会を開催いたします。

詳細はEメールおよび京機会HPにてご案内しておりますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

平成25年春の支部総会のご案内

平成25年2月に、支部総会および異業種交流会を倉敷で開催する予定です。詳細は追ってご連絡します。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願いいたします。

地区交流会・支部役員連絡会のご案内

日時:平成24年12月1日(土)

17:00~17:30 支部役員連絡会

17:30~19:30 地区交流会

会場:

支部役員連絡会:

ダイワロイネットホテル岡山駅前 5F会議室

岡山市北区駅前町1-1-1 TEL 086-803-0055

異業種交流会:月の宴 岡山駅前店

岡山市北区駅前町1-1-1 TEL 086-224-3688



平成24年支部総会・異業種交流会@松山



九州支部総会・見学会

**世界に誇る新幹線の安全の秘密に迫る！
新幹線整備基地見学へのお誘い**

日時：平成24年10月27日(土)

(13時45分 博多南駅集合)

**場所：西日本旅客鉄道(株) 新幹線管理本部
博多総合車両所**



世界が認めるCOOL JAPANの代表格「新幹線」。その安全の根幹を支えるのが新幹線整備基地です。今回、西日本旅客鉄道(株)の田仲文郎福岡支社長(S55)のご厚意により、待望の見学会が実現しました。

● **参加申込みは京機会HPよりお願いします。**

安全な新幹線を作ることにエベレストに登るような苦労があるなら、その新幹線を整備し常に安全に走らせ続けることには、エベレストに住み続けるような苦労があるに違いありません。

現場見学に合わせ、田仲様より博多総合車両所長として最前線で指揮をとられた経験をもとに現場の苦労話もお聞かせ頂きます。

技術者魂旺盛な皆様にとって、絶好の機会です。

ご家族もお誘いあわせの上、是非ご参加下さい。

見学会九州支部総会を開催します。

夕刻、博多へ移動後、**いかの活造いと絶品の焼酎**で懇親会を実施予定です。

<翌日のオフショナルトゥアー>

九州の鉄道の歴史と関門海峡探訪ツアー

鉄道マニアのあなた。歴史好き、食道楽のあなた。秋の関門海峡で楽しい一日を過しませんか！

日時：平成24年10月28日(日)(9時門司港駅集合)

経路：→九州鉄道記念館

→トロッコ列車体験→門司港レトロ

→関門海峡(渡船)下関へ

→唐戸市場(海鮮 食い倒れ体験)

→壇ノ浦 他 下関見学

費用：実費

● **詳細は、京機会HPをご覧ください。また申込みは、27日の総会とあわせ京機会HPよりお願いします。**

京機会学生会SMILEからのお知らせと報告

フットサル大会の報告

日時:平成24年4月21日(土) 参加学生:約40名

学生会執行部スマイルの広報と、機械系学生の親睦を兼ねて、フットサル大会を企画しました。日頃運動する学生もしない学生も、芝生の上を駆けまわり、非常に楽しい午後を過ごすことができました。優勝した富田研チームにはスマイルから景品が進呈されました。



インターンシップ祭の報告

日時:平成24年5月30日(水) 参加学生:約70名

昨年に引き続き、インターンシップに対する興味・関心を高めもらうため、実際にインターンシップに行った方のお話を伺う場を設けました。

司会者からの質問を中心としたパネルディスカッションでは、DeNA、トヨタ、ソニー、三菱重工業のインターンシップに参加された方に体験をお話いただきました。

あらかじめこちらからの質問とその回答をある程度まとめてスライドで表示したことで参加者の方からはテンポよく発言が飛び出し、会場からの質問も活発でした。その後は上記以外のインターンシップに参加された方も交えて小グループでの個別質問タイムとしました。

講演会・学生会総会の報告

日時:平成24年7月4日(水) 参加学生:約50名

総会に先立つ講演会では、「エンジニアの視点から見た、新商品・新技術の生み出し方」として、トヨタ自動車 棚橋様より「LEXUS LFA 開発の軌跡」というタイトルで講演をいただきました。ベテラン開発者としてのこだわりをたっぷり聞くことができ、有意義な時間になったと思います。



工場見学の報告

支部のご支援を得て、8月30～31日に中部地区工場見学、9月25～27日に関東地区工場見学を開催いたしました。見学の模様は、次号にて紹介いたします。

学生KARTからのお知らせと報告

去る9月3日から7日まで、京都大学フォーミュラプロジェクトKARTは、一年間の活動の成果の場である第10回全日本学生フォーミュラ大会に参戦してまいりました。以下で簡単な大会報告を行いたいと思います。

1日目の技術車検は、綿密な対策が実を結び、見事一発で合格することができました。

2日目からの静的審査では、コスト審査・プレゼンテーション審査・デザイン審査が行われ、それぞれ4位・3位・3位を獲得することができ、順調な滑り出しとなりました。

大会3日目からは動的競技に移ります。アクセラレーションとスキッドパッドの1stドライバーはとにかくタイムを残すという方針で早めに出走を行い、2ndドライバーがアタックを行うことになりました。出力的に不利なアクセラレーションは得点を稼ぐことは叶いませんでしたが、スキッドパッドでは得意の旋回性能を発揮し2位を獲得しました。しかし午後からのコース走行の速さで争うオートクロスの競技では、1stドライバーの出走時にエンジンのトラブルが発生し、急遽2ndドライバーが走るまでの合間に修復が試みられました。結局、抜本的な解決には至らないまま終了時刻ぎりぎりまでオートクロスを出走し8位に終わりました。

4日目のエンデュランスになってもエンジンは本調子を回復せず、2ndドライバー交代のタイミングでエンジンが

再始動せず、無念のリタイアとなりました。

総合結果としては、参加82チーム中23位でした。オートクロスまでは首位を争っており、車両の速さも申し分なかっただけに、2年連続のリタイアの苦しさは筆舌に尽くしがたいものでしたが、KARTは勝つ能力を備えたチームであるという確かな手応えを得ることもできました。この勢いを来年も維持して大会に臨むことができれば、チャンスは再び訪れると信じています。



一年間、温かいご声援とご支援を下された京機会の皆様に心より感謝申し上げます。また、今回のチャンスを活かすことができず、申し訳ございませんでした。来年度以降のKARTの挑戦に引き続きご期待くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2012年度プロジェクトリーダー 小川 貴臣

会員のページ

平成24年3月31付ご退職の落合教授・松久教授の退職記念行事報告

落合庄治郎教授 退職記念行事

落合先生のご退職にあたり、平成24年8月4日(土)にホテルグランビア京都で退職記念講演会および祝賀会を開催しました。まず、落合先生から「定年を迎えて一皆様との出会いに感謝、複合材料研究の40年ー」と題するご講演をいただきました。

祝賀会には奥様、お嬢様にもご参加いただくとともに、海外からを含め70名近くの卒業生の参加をいただきました。しめくくりの「私のお父さん」のプレゼンをはじめ、落合先生の永年のご研究と温かいお人柄が表れた記念すべき会でした。



松久寛教授 退職記念行事

松久寛教授の退職記念行事を平成24年4月29日(日)に開催いたしました。最終講義を兼ねた退職記念講演会では「64年間を振り返って」という題目でご講演いただきました。ご講演は松久教授のこれまでの人生を振り返った内容で、学部生時代の思い出から最近取り組まれている社会の縮小の必要性についてまで幅広くお話しいただきました。講演会后、京都ホテルオークラにて退職記念パーティを開催しました。最終講義の様子は<http://ocw.kyoto-u.ac.jp/>にてご覧いただけます。



会員のページ

京機22年会（昭22年卒）同窓会

日時：平成24年3月26日（月）

場所：ホテルグランヴィア大阪 出席者：12名（写真前列左から若林夫人、窪田夫人、窪田、井上、村上、桂、後列左から若林、中井、岡田、秋山、竹内、河野）

窪田幹事が病気回復して夫人同伴で出席し、河野、若林の司会で寮歌を交えて進行。台湾の蔡の出席が予告されたが残念ながら実現しなかった。桂の生命科学についての勉強の披露に始まって活発に各自スピーチ。近況報告に病気の現状が混じるのは年配のせいかな。栄家達也、三谷晃の訃報があった。

次回は、日時：平成24年11月5日（月）、場所：ホテルグランヴィア大阪にて開催。（中井記）



昭和29年卒（洛友会）同期会

卒業55周年に最終回として京都で洛友会総会を開催し、その後は関東と関西の二つの支部に分れて会合をもっている。今年も関東は三菱クラブで1月31日新年会に8名が、関西は大阪倶楽部で5月14日総会に14名が参加した。関東では先生方の講義の板書を懐かしみ、今の自分たちのもの忘れをかこち、EUの落日などの話題が飛び交ったそうだ。大阪倶楽部でも会員の現況について賑やかに歓談した。全員が八十路に入ったことでもあり、病や負傷の体験談が続出、米寿まで元気に生きるためにはいろいろな注意と努力が必要とまとまった。

次回総会は5月13日に大阪倶楽部で開催する。関東では毎月のように三菱クラブで大井上七段を中心に碁会を開いており、関西では時々ゴルフ会を開いているが、両支部メンバーはともに米寿までは活動を続けたいとしている。昨年11月には西宮市で関西の会員9名（会員夫人2名を含む）の作品展示会を開催した。（岡崎記）



50年会（1950年卒）同窓会

日時：平成24年5月21日（月）11:00～14:00

場所：大阪・（社）大阪倶楽部

当初9名の出席予定が2名体調不良で欠席し、少し淋しいが、7名出席にて開催。下間頼一兄より2年前に参加された「アラビア湾クルーズ」のお話を映像付きで伺い、大変楽しみ、学ぶことも多く、一同大いに感嘆す。

次回は「大西洋クルーズ」のお話しをして頂くことにした。我々の学年は40名が卒業したが、現在20名が生き残り、そして元気な人は10名位です。出席者夫々健康状態についての話が主体で、来年も元気で会えるよう願った次第です。

次回は、平成25年5月20日（月）、本年と同じ大阪倶楽部にて開催の予定です。（合田記）



京機26年同窓会

平成24年3月15日（木）、大阪ラマダホテル花外楼で同窓会を行った。集まったのは、荒木、大塚、加藤、村上、吉川で、入学35名の生き残りである。この会は数年前、佐々波君が京都か大阪でやろうということになり数年続いていた。

今年も佐々波君から出席の返事を貰っていたが、この会の直前に急死された。謹んでご冥福をお祈りします。出席者は元気一杯でまた来年もやるぞと張り切っている。こういう会で昔を語り合うのが健康のもとである。旧制の学校を卒業し、昭和を生きたのは我々である。今の世相を嘆いてばかりでは如何ともし難い。戦前の日本の良きも悪きも体験して我々の今がある。せいぜい子供の世代には戦前のよき日本を語り継ごうではないか。

（吉川記）



悟美会（1953年3月卒業（新制））同窓会

悟美会（1953年3月卒業（新制））のクラスの会合を5月14日（火）に大阪弥生会館で開催しました。出席者は12名でした。しばらく行いませんでしたので、大変盛り上がりしました。また（出欠の返事の葉書に）近況を書いてもらいましたので、当日近況集を出席者に配布し、話に花が咲きました。（欠席者にも後日送ることにしました。）

また来年もやろうと再会を期して散会しました。

出席者は下記の通りです。

足立、井上、大角、角田、富室、西岡、西田、春本、増田、村山、山田、中川（隆）
（中川記）



昭和36年卒教室卒業50周年記念集会

学部卒業昭和36年度の銀友会では、昨春、卒業50周年記念集会を企画しておりましたが、震災後の自粛ムードのため、中止しておりました。

その後今年になって再計画し、去る4月8日（日）、熱海は、ニューフジヤホテルにて、会員45名程のうち、広島からの遠来の会員を含めて、23名が集い、超快晴にも恵まれ、成功裏に開催することが出来ました。

ホテル内三か所にある、露天風呂めぐりや、付近の散策の後、待望の宴会となり、丸50年振りで会う面々とも感激のうちに深夜まで話題が尽きないほどでした。

翌日も快晴で、MOA美術館コース、熱海城行きコース、海岸散歩コース、等々、又車で来た人は箱根方面に足を延ばすなど、それぞれの思いでエンジョイののち、大なる元気をもらって散会いたしました。

今回は、きっと京都周辺等、関西にての会合を期待しつつ…。
（小野記）



泰山会（昭和31年卒）同窓会

日時：平成24年4月5日（木） 13:30～19:00

場所：蹴上インクライン→琵琶湖疎水記念館→京大総合博物館→楽友会館（宴会）

例年よりは遅咲きの桜の下、明治の産業遺産の一つであるインクライン周辺を散策、田辺朔郎の偉業を忍び、ついで博物館では、塩瀬准教授の展示品についてのユニークな解説に感銘、また、常設展示の機械メカニズム模型群（機械工学教室1903年購入の備品）の一部が応用されている“一軸偏心ネジポンプ”模型の展示を準備中との言及もあった。
（赤松記）



昭和40年卒同窓会（4040会）

4040会は毎年行っていますが、2012年は新緑の5月26日（土）に5年ぶりに京都で開催しました。会場の岡崎・白河院は藤原良房の別荘として建てられ、白河天皇に献上されたのち、天皇の手によって法勝寺が建立されたところ。現在は平安神宮神苑などを作庭した小川治兵衛作の回遊式庭園と、京都大学本館（時計台）などを設計した武田五一京大教授の手になる数奇屋建築を有する名園で、比較的京都をよく知る会員にも好評でした。4組のご夫婦を含め39名が集合、天候にも恵まれ、新緑の庭を散策したあと庭園の見える座敷で近況報告等をし、旧交を温めました。会の前後には学生時代の思い出の地や周辺の観光地を散策する人が多く、久しぶりに新緑の京都を満喫しました。

（幹事：雨森、内田）



昭和37年卒(37年会)同期会

日時:2012年6月18日(月)～19日(火)

場所:京都 芝蘭会館別館 参加者26名

7年ぶりの総会。今年は学部卒業50周年、また、機械系学舎が吉田キャンパスから桂キャンパスに移る年でもあり、初日は5時間近い懇談を楽しんだ。

翌日は生憎の台風接近で、8名で機械系学舎を訪問。京機会事務室で、最近の大学事情を同期の大谷先生他から拝聴、研究テーマの変貌ぶりに50年のギャップを痛感。総長カレーを食べて、午後のスケジュールはキャンセル、又の再会を約して散会した。

(吉岡肇・伊藤俊記)



旧山田研同窓会

平成24年7月28日(土)夕刻に、故山田敏郎教授の奥様・山田鐸子様を鴨川の床にお招きして、関西在住の山田研究室の古参卒業生を中心に、小さな集いをもちました。たまたま帰洛することが判ったOBとその同級生が、少し遅れて参加するなど、いろいろと楽しいハプニングもありましたが、奥様を囲み昔話に花も咲き、和気藹々とした集まりとなりました。大きく構えた同窓会も楽しいですが、小規模の集まりも良いもので、今後いろいろな形でこのような会を随時開いて行きたいと考えております。

(秋山雅義(S47)記)



昭和42年同期会

<関西同期会>

平成24年4月28日(土)、大阪のホテルグランヴィアの「なにわ食彩しずく」にてS42年関西同期会を開催しました。S38年同期入学でS43年卒の3人も含めて22人が出席しました。関東から2名、中部からも2名が参加し卒業以来最多数の同期会となりました。

卒業以来、初めての再会もあり、思い出話が弾みました。来年も6月1日(土)に開催することとしました。



<関東同期会>

平成24年5月11日(金)、北品川の「金時」にて恒例の関東同期会を開催しました。

大阪、仙台と静岡からの参加もあって14人集まりました。仙台の清野氏が持参した東北大学今村教授の「3.11東日本大震災ビデオ」を見て昨年の惨事を振り返りました。今回は清野氏が予め被災地東北産銘酒一升瓶を3本送ってくれましたので、「金時」の女将も一緒に全員で銘酒を味わいました。

(藤川記)



京都大学同窓会からのご案内



第7回京都大学ホームカミングデーが、平成24年11月10日(土)に開催されます。当日は、鳥越俊太郎氏記念講演会や記念演奏会などが開催されます。詳細は、京都大学HPをご覧ください。

京機会ニュース記事投稿のお願い

会員のページの原稿字数は150字以内(厳守)でお願いします。紙面の都合により事務局にて文章を省略させていただきます場合があります。またお送りいただいた写真(画像ファイル)は返却いたしません。ご了承下さい。次号(2014春号No.32)締切は12月末日です。担当:蓮尾昌裕、富田直秀、小森雅晴、段 智子、中尾美江